

# えんど久子県議ら日本共産党県議団 緊急申し入れ

## 新型コロナウイルス感染症に関して

日本共産党大分県委員会と大分県議団は、安倍首相が全国一律臨時休校の要請した翌日の2月28日、大分県に緊急申し入れを行いました。

3月4日、議案質疑で堤栄三県議がコロナウイルス関係含め質疑。同日4日県議会福祉保健生活環境委員会で、えんど久子県議は、右のような内容を求めました。

えんど「学童クラブで感染者が出たときのマニュアルがほしい、養護教諭の協力を得たいなどの声がある。消毒液などの確保は？非正規の先生や調理員さんの仕事を作る意味でも、学童クラブに力を貸してもらったり、学校で子ども達を受け入れたり、学童クラブの子ども達の昼食を作ってもらったりできないか」

答弁「感染者が出た時のマニュアルはきのう市町村に出した。これまで以上に学校と児童クラブとの連携を図っている。日田市杵築市では非正規教員など児童クラブへの協力を得ている。具体的に市町村と現場でよく協議し協力してもらおうようにしたい」

### 新型コロナウイルス感染症に関する緊急申し入れ

新型コロナウイルス感染症の問題で様々な混乱が生じています。特に、3月2日から春休みまで臨時休校をとる政府からの要請に対し、子どもを持つ保護者の中に不安と混乱が生じています。

そこで、混乱を最小限に抑えるための緊急の措置やさらなるきめ細かな対応が必要と考えます。大分県として国に以下の対応のための財政措置を求めると共に、大分県としても独自の財政措置を検討することを求めるものです。

- 1、PCR検査を早急に受けられるように体制強化などを国に求めること。
- 2、県内の感染症病床や治療体制の確保、保健所の体制強化のために人員確保すること。
- 3、感染防止のためのイベントの中止・延期による県施設の会場費キャンセル料の減免を行うこと。
- 4、学校の休校に際して、共働き家庭など必要に応じ小学生を学校で受け入れる体制を整えると共に、放課後児童クラブや放課後等デイサービスなどの受け入れ体制や感染予防への支援を強化すること。
- 5、中小企業の損失補填や非正規雇用労働者などの給与補償を行うこと。
- 6、速やかに正確な情報提供と必要な措置を講じること。



緊急申し入れを行う  
堤栄三県議（大分市選出）とえんど久子県議  
2020. 2. 28.  
大分県庁内にて